

小学校英語教育 ハーフディナー Teaching English to Young Learners

主催：全国語学教育学会 (JALT) 仙台支部 & 宮城教育大学 教員キャリア研究機構・小学校英語教育研究領域



平成29年 6/25(日) 13:00~17:00

宮城教育大学 2号館 2階 220教室

〆切：6月23日（金）参加無料

講演者：Chiyuki Yanase 先生 & Sean Reid 先生

◆前半 13:00~14:50

やなせ ちゆき
梁瀬 千起 先生 演題：CLIL で楽しく学ぼう！

(CLIL : Content and Language Integrated Learning 内容言語総合型学習法について)



◆後半 15:10~17:00

Sean Reid 先生 演題：CLT でコミュニケーション能力をのばそう！

(CLT : Communicative Language Teaching アプローチとその導入効果)



※講演は全て英語で行われます。

【参加申込】

教員キャリア研究機構・小学校英語教育研究領域 (旧：小学校英語教育研究センター)

事務補佐員 仁昌寺 (ニョウジ) ✉ tnishoji@staff.miyakyo-u.ac.jp まで

お名前・ご所属をご明記の上、期日内にお申込みください。

〆切：6月23日（金）参加無料

P.2に続きます↓

◆前半 13:00~14:50

梁瀬 千起 先生

梁瀬 千起（ヤナセ チュキ）先生は、東京都在住の児童英語教室サニーフィールド英語教室の代表である。イギリスのアストン大学院にて、早期英語学習者に対する外国語教授法の修士号を取得。東京の大学にて児童英語教授法なども教えている。20年以上に渡って児童英語教育に携わり、ティーム・ティーチング、自発的学習、協働学習についての論文を発表し、早期学習者のリタラシー能力の研究を続けている。



本講演 C.L.I.L. で楽しく学ぼう！（CLIL：Content and Language Integrated Learning 内容言語総合型学習法について）では、CLIL（内容言語総合型学習法）と日本の児童英語授業における活用方法を考察する。また、参加者は、絵本や児童文学を使った授業などで、CLILの導入方法と児童のリタラシー能力を伸ばすアクティビティーを協働学習する。

◆後半 15:10~17:00

Sean Reid 先生

Sean Reid 先生は、岐阜県在住の帝京大学可児小学校の教員である。名古屋大学外国語学科にてTESOL修士とカナダのブリティッシュコロンビア大学にて教育学の学士を取得。日本の私立教育において高く評価されている小学1年生から高校2年生までの英語カリキュラムの開発者である。日本国内を回り、コミュニケーション能力を中心とした授業の導入方法の講演をしている。



本講演 CLT でコミュニケーション能力をのばそう！（CLT：Communicative Language Teaching アプローチとその導入効果）では、CLTアプローチとその導入効果を考察する。また、この教授法の実践的なアクティビティーを教材とリソース、コミュニケーション教授法、生徒中心の授業、評価方法など、多岐にわたり論証する。参加者は、このアプローチを実際に体験し、感想を共有し、それぞれの教える環境に合わせた導入の仕方を考察していく。

【お問合せ】

教員キャリア研究機構・小学校英語教育研究領域（旧：小学校英語教育研究センター）

事務補佐員 仁昌寺（ニショウジ）

TEL&FAX: 022-214-3493（平日10：00~17：00）

E-Mail：tnishoji@staff.miyakyo-u.ac.jp

← 公式サイト <https://sites.google.com/view/pseer/home>

